



～戮力協心～ NO.10

2023年11月15日

発行責任者 池尻 和寛

編集責任者 情 宣 部

2023年末手当満額獲得闘争 常駐期間突入

青年部 本社要請行動実施

11月14日（火）本部青年部は中央常任委員（計6名）でJR貨物本社へおもむき、年末手当満額回答を求める要請行動を行ないました。

冒頭、池尻青年部長が要請文を読み上げ、「無責任な計画を策定し、計画未達を理由とした手当抑制は許されない。物価高で生活がひっ迫している青年部員の『生活を保障』するためにも満額回答を求める！」として要請行動に入りました。要請内容の大筋は以下の通りです。

・「青年部員のモチベーションは下がっている！！」「会社の言う「社員の頑張り」ってなに？」

会社は「組合員の頑張り」に感謝すると言っているが、いつも言葉だけであり、青年部員は納得していない。輸送障害が多発している中、職場の青年部員は対応に追われて頑張っているのに、これ以上何を頑張れというのか！10月期改定計画の達成をめざすのであれば、計画達成にむけて最先頭で施策を担う青年部員のモチベーションを上げるべく、期末手当満額を出すべきである！

・「貯金を切り崩して生活費の補填に…。」「寒くなってきたけど、暖房使わない！」

食料品や光熱費、ガソリン価格が高騰しており、青年部員の生活はひっ迫している。「まだ11月だから」という理由で、電気代を節約するために暖房の使用を我慢する青年部員がいる。それが原因で体調を崩したら、要員が不足している中で勤務が回らなくなってしまう。実質賃金が目減りする中、現在の生活を維持するためにも今期末手当の満額回答は必須である！

・「“お化け屋敷”といわれるくらい社宅の老朽化は顕著！」「仕事の疲れを癒せる住宅環境を！」

社宅・寮の老朽化は、衛生的に良くなく、何より会社のイメージを悪くする。ある社宅では外壁が落ちるといった事例もあり、老朽化した建物では安全を担保する十分な休養はできない！きれいに整備した社宅・寮は、自治会もきれいに使おうとする。社宅・寮の維持・整備を継続的に実施されたい！

・「輸送量を増やすにも要員が必要！」「新社会人に選ばれる、魅力ある会社に！！」

来年度の新規採用は定員を満たしていない。求人票の時点で他社と比較され、選ばれなくなっていることの表れである。政府は2030年には輸送量を倍増するという目標を掲げているが、それにむけて要員は増やさなければならない。新社会人に選ばれる会社にすべく、今こそ年末手当の満額回答を！

・「過度なコストカットは許されない！！」

評価に対するフィードバック面談のはずなのに、コストカットに関する説明をこんこんとされたが、面談でまで話しをするのはいかがな対応か！ある職場では、感染症対策で用意されていたペーパータオルが削減された。過度な経費削減によって、青年部員の安全や健康が脅かされることがあってはならない！

**全国をまわった社長は青年部員の何を見て、どんな声を聴いてきたのか？
今日の訴えを真摯に受け止め、誠意ある満額回答を！！**